

令和7年度

2月

あんぜんだより

社会福祉法人
明の守福祉会

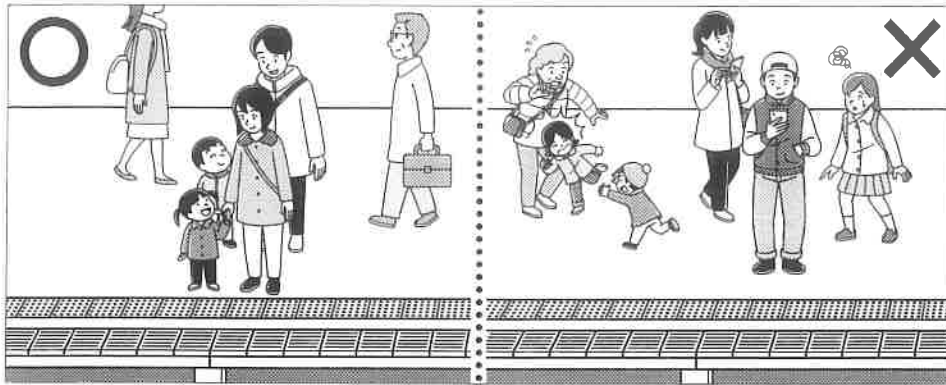


鉄道は誰もが気軽に利用できる交通機関ですが、ルールやマナーを守らないと、思わぬ事故やけが、対人トラブルを引き起こしてしまいます。公共の場所であるということ意識して、自分たちだけではなく、周囲の人も気持ちよく、安全に過ごせるようにしましょう。

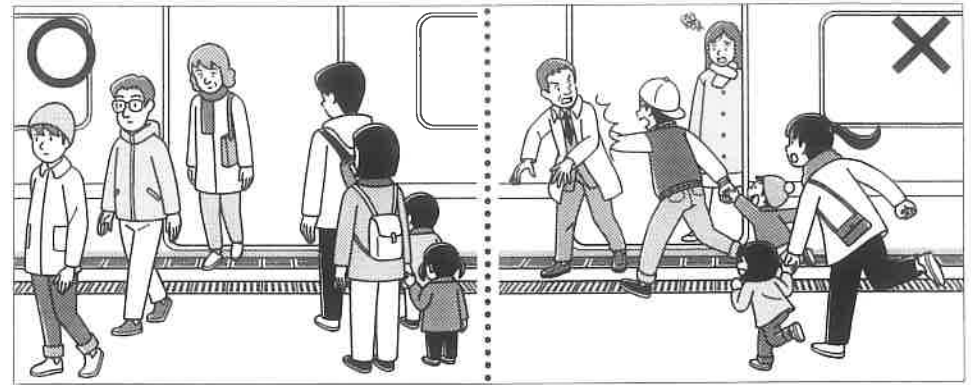


鉄道を安全に利用するためのルールとマナーを身につけましょう

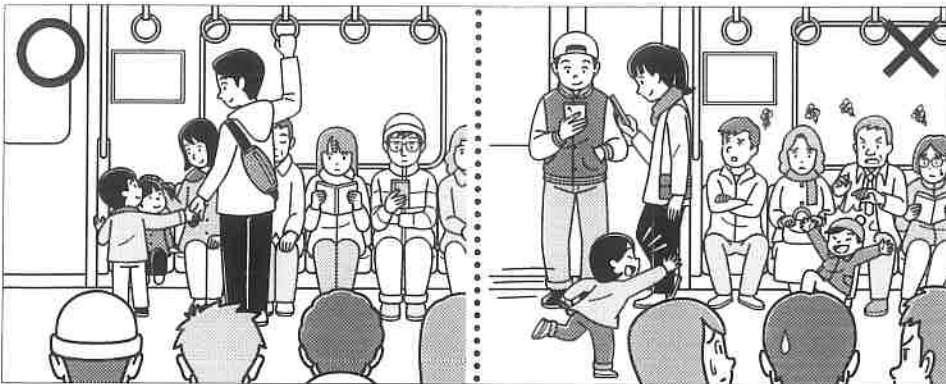
でんしゃに のる ときの やくそくを まもって あんぜんに のろうね



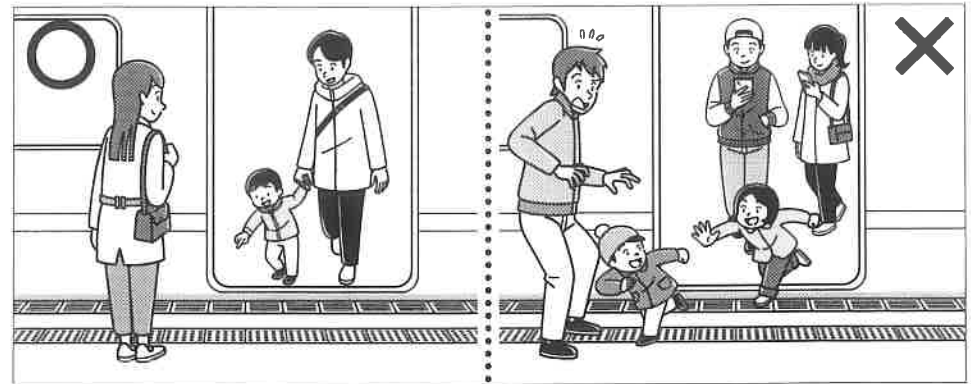
せんの うちがわで でんしゃが くるのを しずかに まつ。



おりる ひとが すんでから じゅんばんに のりこむ。



てすりを つかんで たつか あいた せきに すわる。



まわりと あしもとを よく たしかめながら おりる。

保護者の方へ 電車の到着を待つときは、ホーム上に引かれた点字ブロックの線よりも内側で、乗車位置の表示に従い、整列して待ちます。ホームドアが設置されている駅では、寄りかかったり、外に身を乗り出したりしてはいけません。乗り降りは、我先にではなく順番を守り、後ろの人がつかえないよう、前の人に続いてスムーズに行きます。乗車中は、空席があれば座り、立つ時にはしっかりと手すりをつかみます。自分たちだけではなく、周囲の人も気持ちよく、安全に過ごせるように気を配りましょう。

3月号では「道路を歩くときの約束」について取り上げます。